

第6学年国語科学習指導案

日 時 平成22年9月29日(水) 公開授業1
児 童 6年1組(男19名 女16名 計35名)
指導者 千葉 茂之
日 時 平成22年9月29日(水) 公開授業2
児 童 6年2組(男21名 女16名 計37名)
指導者 千葉 真智

1 単元名 筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう

2 教材名 『平和のとりでを築く』 (大牟田 稔 作)
『自分の考えを発信しよう』

3 単元の指導目標

【国語への関心・意欲・態度】

筆者の考えに対する自分なりの考えをもち、「平和」について関心をもって読んだり、考えを深めたりしようとする。

【読むこと】

筆者が訴えたいことを読み取り、それについて自分の考えをもつことができる。

(読むこと ウ)

自分の考えを広げたり深めたりするために、必要な資料を読み取ることができる。

(読むこと オ)

【書くこと】

自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えながら書くことができる。

(書くこと イ)

【言語についての知識・理解・技能】

文や文章には、いろいろな構成があることを理解することができる。

(言語事項に関する事項 オ)

4 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	言語についての 知識・理解・技能
平和に関心をもちながら筆者の考えに対する自分の考えをもとうとする。	文章の内容や要旨をとらえながら、筆者が伝えたいことをつかんでいる。 自分の考えを広げたり深めたりするために、必要な資料を読み取っている。	平和について自分の考えが相手に伝わるように、段落の構成を考えて書いている。	文や文章にはいろいろな構成があることを理解している。

5 指導にあたって

(1) 児童について

児童は、1学期に説明的文章として「生き物はつながりの中に」を学習した。ここでは、筆者の考えを読み取り、それに対して自分の考えをまとめることをねらいとした。段落ごとの要点をとらえて、段落相互の関係をつかみ、文章構成図を考えた。そして、要約する学習

を通して、要旨をとらえた。要約する学習は初めてなので、形式段落の要点をつなぎながら「生き物の特徴」と「筆者の考え」を入れて文章全体を要約文にまとめた。どの段落の要点を取捨選択するか悩む児童には、モデル文を示すなどした。筆者の考えをとらえることは、文章構成が尾括型の文章であったことと読者に呼び掛けるような文末表現から、ほとんど理解できた。また、筆者の考えに対する自分なりの考えをまとめる活動では、「共感できる」「共感できない」「疑問に思う」と自分の立場を明確にさせながら、簡単な文章にまとめた。自分の立場を明らかにしたものの、経験や読解力の個人差によってその考えの根拠を示した理由を書く児童はあまり多くはなかった。

「ガイドブックをつくろう」の単元において、修学旅行で見学・体験した施設をパンフレットなどから必要な資料を選んで、ガイドブックにまとめる学習をした。また、個人新聞づくりは、社会科見学のまとめとして簡単な新聞を作る経験はしている。しかし、自分の考えを中心にした新聞を作る学習は初めてになる。

(2) 単元について

5・6学年の読むこと目標は、「目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身につけさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。」とあり、指導事項には、「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかいたりすること」とある。

本教材「平和のとりでを築く」は、原子爆弾によって大きな被害を受けた物産陳列館が、多くの人々の平和を願う声により「原爆ドーム」として保存され、世界遺産に指定されるまでの経緯を述べた文章である。本文は大きく4つのまとまりで構成されている。「話題提示」「原爆ドームの歴史」「世界遺産への道のり」そして最後の「まとめ」で筆者の訴えをまとめている。「尾括型」の文章なので、筆者の考え(要旨)をほとんどがつかむことはできる。また、「心の中に平和のとりでを築く」という叙述の意味するところ、あえて「とりで」という言葉を題名に使っていることなどから筆者の強い思いを子どもたちに考えさせることのできる教材文である。

二次では、段落相互の関連をとらえ、小見出しを考え、要旨を中心とした要約する学習を通して、筆者の考えを読み取るようにする。事実と意見・感想の関係をおさえ筆者の平和に対する切実な思いを受け止められるようにしていきたい。

三次では、「平和」というテーマについて関心をもち、自分なりの考えをもち、必要な文章や資料などを使って根拠をもとに理由を示しながら自分の考えをまとめていく。それを個人新聞にまとめ、地域の人に発信する活動をおこなう。

(3) 指導について

「平和のとりでを築く」の教材は、「文章全体の構成をとらえるための文章構成図を書く。」「筆者の考えを中心とした要旨をとらえる。」「事実と意見、感想の述べ方の違いを確かめる。」などの言語活動を通して、筆者の考えを読み取り、その考えに対する自分の考えをまとめられるように学習を進めていく。そのためには、重要語句や文末表現に注目し、事実と意見を区別しながら筆者の考えを丁寧に読み取っていく。また、それに対する自分の感想や意見を考えながら学習を進め、自分の考えをしっかりともち、まとめられるようにしたい。

「自分の考えを発信しよう」は、「平和」をテーマにして自分に必要な文章や資料を選び、調べ、自分の考えを発信する学習を行う。根拠をもとに理由を示しながら自分の考えをもたせる。そして、二次で学習した「要約文を書く。」「筆者の考えに対する自分の考えをまとめる。」ことを生かして、自分で選んだ文章や資料を要約し、根拠をもって自分の考えをまとめた新聞にしていきたい。そのためには、「戦争」「地雷」「核兵器」「難民」などの文章や資料を多く用意しておきたい。できるだけ物語ではなく、事実と意見が書かれてある本や資料を集め、子どもたちに提示する。

6 指導計画 (全 15 時間 読むこと 8 時間 書くこと 7 時間)

過程	時間	主な学習活動	具体的評価規準【B】 (評価方法)
一次	1	【単元の見通しをもつ】 ・題名について話し合う。 ・学習計画を立てる。	【関】 「平和のとりでを築く」の題名や内容に興味を持っている。(観察、ノート、発言)
		「平和のとりでを築く」や平和に関する資料を読んで、「平和についての新聞」を書こう。	
2 時間	1	・難語句や新出漢字の読み方を確認する。 ・「平和のとりでを築く」を読み、初発の感想を書く。 ・初発の感想を交流し合い、「平和のとりでを築く」の読みの課題を明らかにする。 ・自力読みの観点(「中心語、中心文を見つける」「形式段落の要点を抜き出す」「作品の構成が分かる」)を確認する。	【読】 感想を交流し合いながら、自分と友達の共通点や相違点に気づく。 (ノート、発言) 観点に沿って、読み取っている。 (ノート、教科書)
二次	1	【意味段落ごとに読み取り、自分の考えをもつ】 ・文章構成図を作り、段落の構成をとらえる。	【読】 段落の構成をとらえている。 (ノート、教科書、発言)
	1	・事実と感想、意見を区別する。	【読】 話題提示の文を読み取っている。(発言、ノート)
	1	・原爆ドームの歴史と人々の思いを読み取る。	【読】 原爆ドームの歴史と人々の思いを読み取っている。(発言、ノート)
	1	・原爆ドームが世界遺産になった経緯と筆者の思いを読み取る。	【読】 原爆ドームが世界遺産になった経緯と筆者の思いを読み取っている。(発言、ノート)
	1	・要旨をとらえ、筆者の伝えたいことをまとめる。	【読】 要旨をとらえ、筆者の伝えたいことをまとめている。(発言、ノート)
	1 本時 6-1	・筆者の考えに対する自分の考えをまとめ、交流する。	【読】 筆者の伝えたいことに対して自分の考えをもっている。 (発言、ノート)
三次	1	【「平和」についての新聞を作る】 ・「平和」についての自分の考えをもち、必要な本や資料を集める。	【関】 新聞作りのために進んで必要な本や資料を集めている。(観察)
	1	・集めた本や資料を読み、自分の考えを支える根拠を見つける。	【書】 必要な本や資料を集め、自分の考えの根拠を見つけている。 (観察、シート)
	1	・選んだ資料の要約文を書く。	【書】 様式に沿って、選んだ資料の筆者の考えが分かるように要約文を書いている。 (原稿用紙)
	1 本時 6-2	・自分の考えを書き、交流する。	【書】 自分の考えを支える根拠を明確に示しながら意見文を書いている。(原稿用紙)
	2	・コラムなどの原稿を書き、清書する。	【書】 自分の考えが読み手に伝わるように、小見出しや内容を工夫して新聞を書いている。(新聞)
7 時間	1	・書いた新聞を読み合い、交流する。	【書】 自分の考えを支える根拠を明らかにしながら、読み手に分かるように書いている。(新聞)

第6学年 単元構想表

- 1 単元名 筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう
- 2 教材名 平和のとりでを築く (大牟田 稔 著)
自分の考えを発信しよう
- 3 目標 筆者が訴えたいことを読み取り、それについて自分の考えをもつことができる。
「平和」についてさらに考えるために調べ、深まった考えを分かりやすく構成して書き、交流することができる。
- 4 つけたい力
 - (1) 児童の実態
 - ・筆者の考えを読み取るために段落ごとの要点をとらえ、段落相互の関係をつかみ、段落の働きを理解できる。
 - ・筆者の考えに対する自分なりの考えを立場を明確にさせながらまとめられるようになってきた。
 - ・自分の考えを支えられる根拠を明確に示す力は不十分である。
 - (2) つけたい力
 - ・文章の要旨をとらえ、筆者の考えに対する自分の考えをもち、まとめる力 (読むこと ウ)
 - ・自分の考えを広げたり、深めたりするために必要な資料を読み取る力 (読むこと オ)
 - ・自分の考えを支える根拠を明確に示しながら効果的に書く力 (書くこと イ)
- 5 言語活動 平和に関する資料を読み、自分の考えはどうであるかを個人新聞にまとめること。
- 6 自力読みの観点
 - [これまで身に付けた自力読みの観点]
 - ・文章の内容を理解し、自分の思いや考えが伝わるような音読をする。…文章を正確に読む。
 - ・題名について考える。…「平和のとりで」とは何かを考える。
 - ・文末表現の違いを促える。…事実、筆者の考えなどの文の文末の違いに気づく。
 - ・文意識をもつ。…主語、述語を理解する。
 - ・形式段落と意味段落が分かる。…段落の意味が分かる。
 - ・中心語、中心文を見つける。…キーワード、形式段落の中心文を見つける。
 - ・形式段落の要点を抜き出す。…体言止めでまとめる。
 - ・作品の構成が分かる。…「序論—本論—結論」（「尾括型」）であることが分かる。
 - [本単元で重点的に指導する自力読みの観点]
 - ・段落相互の関係を考え、全体の構成が分かる。…4段落に構成されていることが分かる。
 - ・意味段落の要点を抜き出し、小見出しをつける。
 - …意味段落の内容を一言で示す小見出しを考える。
 - ・事実と意見、感想の述べ方の違いを確かめる。…語尾の違いから確かめる。
 - ・文章を要約し、要旨を捉える。…まとめの段落を中心とした要旨を捉える。
 - ・筆者の主張について、自分の考えや意見を述べる。
 - …2段落構成の文章にまとめる。
 - 教材文の中から自分の考えを支える根拠を見つける。

公開授業1 (6年1組)

7 本時の指導 (8/15 時間)

(1) 研究との関わり

- ・本校の自力読みの観点の「段落相互の関係を考え、全体の構成が分かる」「意味段落の要点を抜き出し、小見出しをつける」などを活用し、要旨をとらえる学習を通して、筆者の考えを読み取っていく。その活動によって、筆者の考えに対する自分の考えを、根拠となるものを明らかにしながらまとめることができるようになった。

(2) ねらい

- ・筆者の伝えたいことに対する自分の考えを、根拠をもとにまとめることができる。

(3) 展開

段階	学習活動	教師の支援と評価 (○は主発問 ・は支援)
つかむ 3分	1 本時の学習課題を確認する。 筆者の伝えたいことに対する自分の考えをまとめよう。	・自分の考えをまとめる学習であることを確かめさせる。
ふかめる 35分	2 筆者の伝えたいことを確かめる。 ・原爆ドームは、核兵器は不必要だと、世界の人々に警告する記念碑であり、それを見る人の心に平和のとりでを築くための世界の遺産なのだ。 ・平和をこわそうとするものから、平和を守ろうとする強い意志をそれぞれの心の中に築くことが大切だ。 3 自分の考えをまとめる。 ・200字以上300字以内 ・2段落構成で ・根拠となる言葉、文 ・理由	○ 筆者の伝えたいことは何ですか。 ・前時にまとめた筆者の考えを発表し合い筆者の伝えたいことや、「平和のとりで」に込められた思いを確認させる。 ○ 筆者の伝えたいことに対する自分の考えを書きましょう。 ・「平和」「とりで」「築く」「戦争は人の心の中に起こる」のキーワードを生かして、自分の考えをまとめさせる。 ・2段落構成で書くという様式を指定し、必要な内容を記述できるようにする。 ・なかなか書けない児童には、同感できるところを選び、次にその根拠となる言葉や分を書くように支援する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>具体の評価規準</p> <p>A 筆者の考えに対する自分の考えを、根拠をもとに理由を明らかにしながらまとめることができる。</p> <p>B 筆者の考えに対する自分の考えを、根拠をもとにしてまとめることができる。</p> <p>Cへの支援 筆者の伝えたいことを確かめ、同感できることを中心にまとめさせる。</p> </div>		
	4 まとめたことを交流する。	・まとめたことをグループ内で発表し合う。 ・友達の考えを自分の考えと比べながら聞くようにする。

		似ている考え 違う考え 参考にしたい考え
まとめる 7分	5 本時の感想を書く。 6 次時の予告をする。	・今日の学習の感想を書く。 ・「平和」をテーマにして、個人新聞をつくる。

(4) 板書計画

<p>平和のとりでを築く</p> <p>大牟田 稔</p>	<p>筆者の伝えたいことに対する自分の考えをまとめよう。</p> <p>要旨</p>	<p>原爆ドームは、核兵器は必要だと、世界の人々に警告する記念碑であり、それを平和のとりでを築くための世界の遺産なのだ。</p>	<p>筆者の伝えたいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争から平和を守る高くて強いとりでを心の中に築く ・核兵器を二度と使わない強い気持ちを、世界中の人にもってほしい。 ・人の心の中に平和を守る強い意志をもつ 	<p>自分の考え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二〇〇〜三〇〇字 ・二段落構成で ・根拠となる言葉、文 ・理由
-------------------------------	--	--	---	--

公開授業 2 (6年2組)

7. 本時の指導 (12 / 15 時間)

(1) 研究とのかかわり

二次で行った筆者の考えに対する自分の考えをまとめる活動を通して、「平和」について選んだ本や資料の中から、筆者の考えをとらえることで自分の考えを支える根拠を明確にしながらか自分の考えをまとめることができる考えた。

(2) ねらい

「平和」について、根拠を明確に示して自分の考えをまとめることができる。

(3) 展開

段階	学習内容	教師の支援と評価 (○主発問・支援)
つかむ3分	1 本時の課題を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 見本の新聞を示し、本時の活動が新聞のどの部分に当たるのかを確認する。
	「平和」について理由をはっきりさせて自分の考えをまとめよう。	
ふかめる	2 「平和」について自分の考えをまとめる。 (1) 「平和」についての自分の考えのまとめ方を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> 2段落構成で書く。 字数…250字程度で書く。 自分の考えと理由を分けて書く。 理由…資料の中から示す。 (2) 自分の考えをまとめる。 「平和」について自分の考えを書く。	<ul style="list-style-type: none"> ○「平和」について読む人になるほどと思ってもらえるように、皆さんの考えをまとめましょう。 理由を明確にすることで、自分の考えが分かりやすくなることを意識させる。 様式に沿って書くことを確認する。 書き方に迷っている児童には、教師が準備した意見文を参考にさせる。
	具体の評価規準 A…様式に沿って、「平和」についての意見文を、資料を根拠に自分の言葉で理由を示し書いている。 B…様式に沿って、「平和」についての意見文を、資料を根拠に理由を示し書いている。 Cへの支援…教師が準備した意見文を提示し、参考にさせる。	
37分	3 書いた自分の考えを交流する。 <ul style="list-style-type: none"> グループを作り、書いた自分の考えを読み合う。 観点に沿ってアドバイスをし合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 意見文を読む観点 <ol style="list-style-type: none"> 自分の考えと理由を分けて書いている。 自分の考えがはっきりしている。 自分の考えを納得させる理由になっている。
まとめる5分	4 学習のまとめをする。 5 次時予告をする。	<ul style="list-style-type: none"> 学習の感想を書かせる。 次時は、コラムを書くことを伝える。

(4) 板書計画

平和のとりでを築く

大牟田 稔

「平和」について理由をはっきりさせて自分の考えをまとめよう。

自分の考えをまとめる。

気をつけること・・・読む人を納得させるため
平和についてどう思うか・・・メモを参考に
自分の考えと理由を分けて書く。
理由・・・資料の中から示す。

自分の考えを書く。

条件

二段落構成
字数・・・二百五十字以内

交流する。

グループで読み合う。↓アドバイスする。

読む観点

- ① 自分の考えと理由を分けている。
- ② 自分の考えがはっきりしている。
- ③ 自分の考えを納得させる理由になっている。